

# 令和6年度 学校経営方針

帯広市立広陽小学校  
校長 千頭 洋

## I 学校教育目標（広陽の子ども）

- |   |            |                              |
|---|------------|------------------------------|
| 1 | ねばり強い子ども   | <自主性に富み、自分に負けない根気強い子どもを育成する> |
| 2 | 考える子ども     | <学力が身につき、創造性豊かな子どもを育成する>     |
| 3 | たすけあう子ども   | <責任や連帯感を重んじて、協調性のある子どもを育成する> |
| 4 | 思いやりのある子ども | <情操豊かで心優しい子どもを育成する>          |
| 5 | たくましい子ども   | <健康で安全な生活のできる子どもを育成する>       |

## II 今年度の重点目標（子ども像）

【エリア】「人とつながり、きらめく子ども～自らの可能性を見つけ、動く～」

【広陽小】「主体的な学びで、豊かな知識と人間性を習得し、自ら行動できる児童」

**4つの視点** ～「あいさつ」「ありがとう」「やる気」「根気」～

昨年度は、全教職員が協力し、より安心・安全な学校・学級環境の構築に取り組み、児童が安心して生活し学習に取り組める広陽小学校となった。その環境の中で、研究部を中心に全教職員がラーニング・マウンテンを活用した授業改革に取り組み、その成果が標準学力検査の結果に表れた。また、全国学力・学習状況調査においても、国語科・算数科ともに全国平均を超え、取組の成果を示すことができた。さらに、不登校が減り、いじめに対する認識が高まった。

今年度は、エリアならびに広陽小学校の重点教育目標の達成に向け、4つの視点を継続して重視しつつ、調査結果から見られる「ICT活用の充実」「自分で考え自ら取り組む」「学習を振り返り次に繋げる」「図書館活用の充実」を重点的に進めていきたい。

また、「アイ・メッセージ」によるアプローチを心掛け、児童との信頼関係を基盤とした学級経営と全教職員による「隙間のない生徒指導」で、学力・体力の向上を目指して参りたい。

「教育は未来を創る営みである」ことを深く自覚し、「子どもにとって学びたい学校」、「教職員にとって働きたい学校」、「保護者・地域にとって通わせたい学校」づくりを進める。

### 目指す広陽っ子の姿

- <あいさつ> 人とつながり、自分の居場所を実感できる学級・学校環境を作る  
→ 自分からあいさつができ、しっかり返事ができる朗らかな子
- <ありがとう> 感謝の心で視野を広げ、他者と関わり、自己有用感を育成する  
→ 人の優しさを感じ、自らも心豊かに人と繋がろうとする子
- <やる気> 安心できる環境の中で、学力・体力向上に向け前向きに挑戦する  
→ 言語環境、姿勢、くつを整え、先を見通し、自ら学ぶ意欲的な子
- <根気> その時その時の気分で終わらず、物事を成し遂げる力を養う  
→ 主体的に根気強く取り組み、豊かな知識と人間性を習得する子

### Ⅲ 今年度の課題と確認事項

- 1 学校力向上に関わる総合実践事業中核校としての取組
  - ・「ICTを活用した授業改善」「ラーニング・マウンテンによる単元を見通した学習の取組」など、西陵エリアとして学力向上に向けた、ベクトルを一にした取組を行う
  - ・「働き方改革」について改めて、その改革の意味と意義を職員で再確認し、「勤務時間内における充実した取組・効果的な取組」のための改革を行う。
  - ・「生徒指導提要を生かしたいじめ・不登校児童・生徒の解消」に向け、義務教育9年間を見通した取組の基盤をつくる。
  
- 2 学習指導要領を基本とするカリキュラム・マネジメントの工夫
  - ・子どもたちが新しい時代を生き抜く資質・能力を確実に身に付けさせる
  - ・学年ごとに到達目標を意識し、学力・体力の向上を確実に進める
  - ・習熟度別授業（算数科4～6年の加配）による伸びしろ層(低位層)の底上げ
  - ・情報活用能力の計画的な育成を意識して、「ICTを活用した授業」の向上を目指す
  
- 3 学校全体としてのスピード感のある危機管理
  - ・各種行事や児童会・クラブなどの取組のムダを排し、必要なものを充実させていく
  - ・保護者・地域への説明責任を自覚し、子どもの指導にかかわる教職員間における情報共有を重視した取組を継続する（生徒指導交流会の定期開催と内容の充実）
  - ・公教育に携わる組織体、公務員として、法令遵守の徹底に努める
  
- 4 今年度の重点目標の達成へ向けた全教職員の意識の共有化を重視
  - ・「教」「育」のバランスを大切にして、児童の「やる気」と「根気」を育てる
  - ・挨拶や感謝の心の大切さなどを普段から丁寧に指導し、児童理解に努めながら、いじめや不登校の防止・解消に向けた方策を充実させる
  - ・時間外勤務の短縮や働きがいのある学校を目指し、着実な働き方改革を一步進める（学年内における教科担任制など工夫・情報共有）

### Ⅳ めざす教師像（使命感に燃える教師）

- ◆児童理解に努め、一人一人を大切にする教師
- ◆研修に励み、わかる授業の創造に努める教師
- ◆豊かな発想で、新たな創造に喜びをもつ教師
- ◆仕事に責任をもち、協力し合う教師

- ① 子どものために教師の力量を高め、もっている力を惜しみなく出そう
- ② 子どもたちの良さや可能性を伸ばす目をもとう
- ③ 子どもの姿に着目し、子どもの声（つぶやき）に耳を傾けよう
- ④ 子どもの力を認め、さらに引き出し伸ばす教育技術を身につけよう
- ⑤ 子どもたちと共に歩む姿勢で指導にあたり、揺るぎない信頼を築こう

## V 教育活動推進の重点

### 1 魅力ある学校づくり

■生徒・保護者・地域にとって安心感・信頼感のある学校づくりに努める

- (1)情報の共有化をめざす開かれた学校と目的を明確にした開かれた教育課程の創造
- (2)学校のニーズに応えてくれる学校支援ボランティアの積極活用と連携
- (3)地域や家庭と連携した学校力向上を目指した挑戦の継続

### 2 教育課程

■学習指導要領の趣旨を踏まえ、学習者中心の教育課程の編成・実施に努める

- (1)学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実施・評価・改善
- (2)児童の状況を把握し、学校・地域の実態を生かす工夫
- (3)各教科・各領域の関連や目標及び位置づけを明確にした管理と運営

### 3 学習指導

■個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、確かな学力の育成に努める

- (1)個に応じたきめ細かな指導による基礎基本の確実な習得
- (2)学ぶ喜びを実感できる「児童を主語にした授業」の工夫や改善
- (3)放課後や長期休業中を活用した補習などの学力向上に向けた取組
- (4)家庭学習の習慣化と生活リズムの改善を図る指導の充実

### 4 道徳教育

■思いやりの心を育て、温かい人間関係を育む道徳教育の充実に努める

- (1)道徳科のねらい及び評価についての共通理解
- (2)道徳科授業実践の交流
- (3)道徳との関連を図った豊かな心を育む教育活動の充実

### 5 特別活動

■集団活動を通して、個性を伸ばし、自主的・実践的な態度を育てる

- (1)学級活動の工夫と望ましい人間関係の醸成
- (2)児童会活動の充実と自主的・主体的な態度の育成
- (3)豊かな体験活動を取り入れた学校行事の充実

### 6 生徒指導

■児童理解に努めるとともに、児童相互、児童と教師の深い信頼関係を築く

- (1)カウンセリングマインドに基づいた生徒指導の充実
- (2)規範意識の向上とその内面化を図る指導の工夫
- (3)家庭・地域と連携した指導の工夫

### 7 健康・安全指導

■健康・安全に関心をもち、進んで実践する態度の育成に努める

- (1)健康安全指導の全体構造に基づいた指導の充実
- (2)危機管理意識の高揚と交通安全指導の徹底
- (3)望ましい食習慣の形成と食に関する指導の充実

### 8 キャリア教育

■児童一人ひとりが将来や生き方を適切に考えることができる指導に努める

- (1)6年間を見通した指導計画と継続的な指導体制の確立
- (2)自己肯定感を高める効果的な指導の充実
- (3)正しい職業観や勤労観を育む生き方指導の充実

## 9 学年・学級経営

### ■学校教育目標や経営方針を具体化し、経営の充実に努める

- (1)ともに高め合い、ともに助け合う生活集団など、望ましい集団づくりの工夫
- (2)児童一人ひとりのよさを引き出し、伸ばす指導の工夫

## 10 校内研修

### ■指導力の向上を目指し、組織的・計画的な研修を推進する

- (1)新たな研究計画や研究内容等の策定と推進
- (2)「ラーニング・マウンテン」による読解と記述の能力の育成
- (3)日々の授業実践の積み重ねによる積極的な授業公開
- (4)学校教育指導の実施や各種研究会等への積極的参加

## 11 特別支援教育

### ■児童個々の教育的ニーズに応じた支援体制の確立に努める

- (1)情報の共有化を図った校内支援体制の充実（支援⇄通常 支援⇄学校 支援⇄支援）
- (2)外部関係機関等との連携

## 12 学校評価

### ■自己評価と関連づけた外部評価を実施し、学校改善に努める

- (1)学校改善に資する評価項目の設定による学校評価の推進
- (2)参観日や学校だより・HPでの説明等、評価結果の積極的な公開
- (3)学校運営協議会への自己評価（教職員・保護者・児童）提示と委員による学校評価

## 13 事務

### ■教育効果の維持を重視した事務処理の迅速化と適正化に努める

- (1)事務処理の手順や経路の明確化
- (2)教育予算執行の適正処理と金銭の取扱いの厳正化
- (3)收受・発送文書や諸台帳の点検整備の徹底

## 14 教職員の健康管理・働き方改革

### ■教師自身が積極的に健康管理に努め、教育活動の充実を図る

- (1)自らの体調管理と早めの対処
- (2)ストレスコントロール・ストレスチェックの徹底
- (3)セルフマネジメントによる業務の効率化

## VI 学校経営の基調

（経営の基調）

**「子どもの姿そのもの」が教育の成果であり**

**「子どもの言葉そのもの」が学校への評価である**

